

A. 北海道

1. 広域モニタリング調査

1-1. 広域モニタリング調査地域の位置および概況(図 1-1-1)

広域モニタリング調査地域は、苫小牧市の北東部に位置するウトナイ湖を中心とし、1/25,000 地形図の「沼の端」図幅、標準地域メッシュの 6441-05 に相当する。

第1回調査時との大きな変化としては、勇払川の河川切り替え工事によりウトナイ湖に流入する河川が1本増加したことがあげられる。また、ウトナイ湖南側に建設しつつある高規格道路の建設が進み、その南側が住宅地となってきたことなどが大きな変化である。その他、まだ大きな変化は見られないが、ウトナイ湖の美々川流入部付近の北側のヨシ原およびコナラ・ミズナラ林が細かく区画化されてきており、将来的には大きく環境が変化することが予想される。

1-1-1. 地形・地質の状況

全地域が標高 50m以下の丘陵地および低地である。北部は支笏火山の斜面下部に位置する第四紀火山碎屑物からなる丘陵地で、その丘陵地を美々川・勇払川水系が刻んでいる。美々川水系には各所で湧水点がみられる。一方南部は勇払平野の一部であり、ウトナイ湖を中心に沖積低地が広がっている。

1-1-2. 水系の状況

ウトナイ湖は、面積約 230ha、水深 0.5～0.6mの浅い海跡湖であり、その周辺の後背湿地や、丘陵地を刻む谷の谷底の湿地などは未開発のまま自然状態を保っている。

1-1-3. 土壌の状況

土壌は、ほぼ全域にわたって火山噴出物未熟土であるが、水分条件によって河川や湖沼の周辺に湿性火山噴出物未熟土が分布する。特にウトナイ湖と勇払川の周辺には泥炭土が広がる。また、支笏火山山麓にあるゴルフ場では、人工的な土壌改変が行われている。

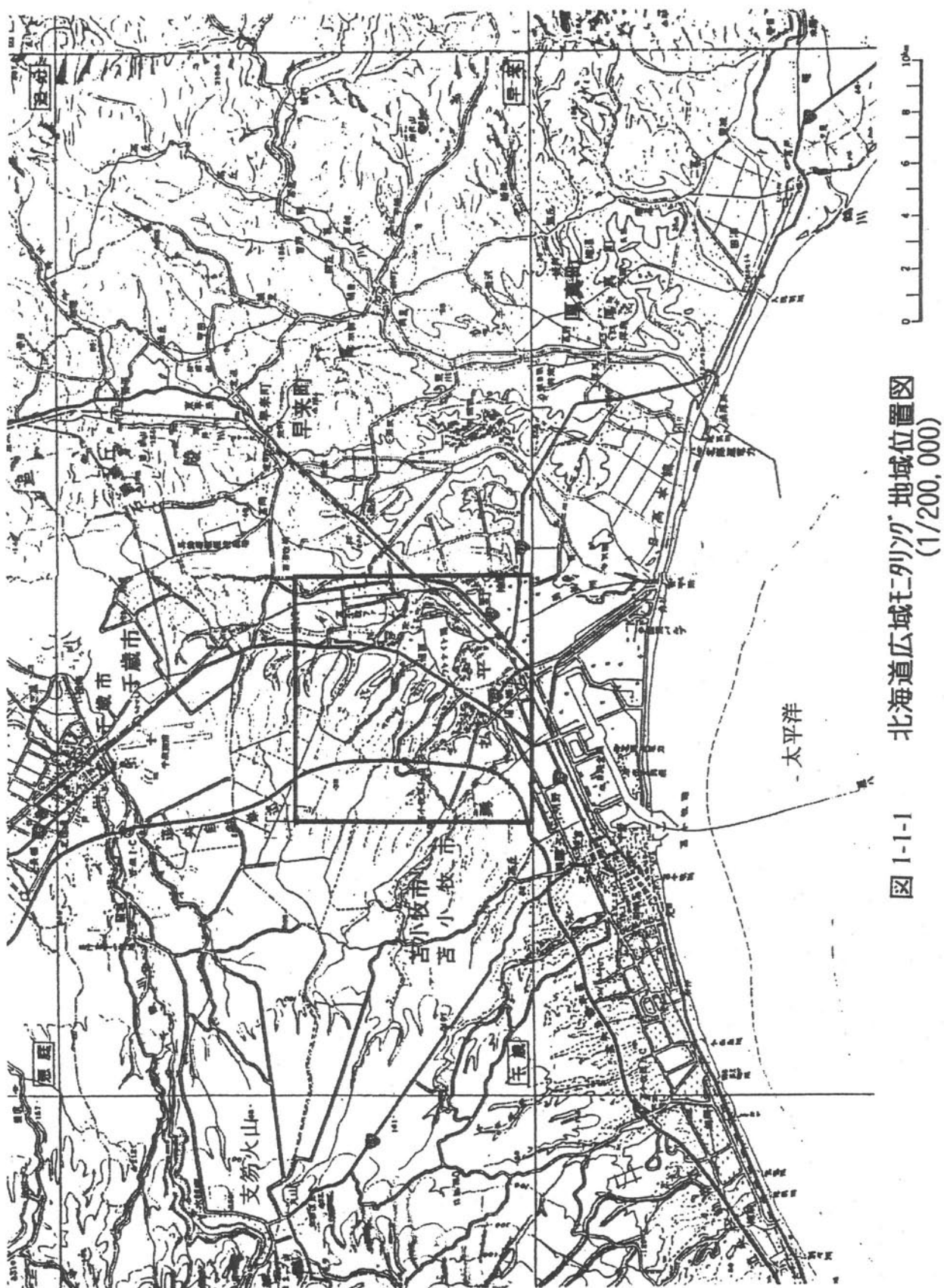


図 1-1-1 北海道広域に列した地域位置図
(1/200,000)

1-2. 植生

確認された植生を大きく分けると以下の4つに区分される。

- ①北西部のトドマツやカラマツを中心とする植林地
- ②中央部から北西部にかけての丘陵地に広がるクリーミズナラ群落およびゴルフ場
- ③調査地東部に広がるミズナラ・カシワ・コナラ群落および畑地・牧草地
- ④美々川・勇払川の低地やウトナイ湖周辺のハンノキ群落およびヨシクラス

第1回調査時から植生が改変された部分について、図1-2-1に示した。

第1回調査と比較すると、全体としては湿地・森林の減少、ゴルフ場、工業用地、畑地・牧草地、市街地の増加等の傾向が見られた。

湿地・森林の減少の理由としては、ゴルフ場のコース増設に伴う面積の拡大（南西部クリーミズナラ群落の伐採）、湿地の埋め立てによる造成地化（南東部）、農耕地面積の拡大（北東部ミズナラ・カシワ・コナラ群落の伐採）などが挙げられる。

一方、北西部の伐採後群落ではクリーミズナラ群落やハンノキ群落へと移行した箇所があった。また南部の市街地でミズナラ・カシワ・コナラ群落がかなりの面積確認されたが、これが植樹によるものかどうかは不明である。

なお、当該地域に出現した植生は第1回調査時と変わらなかった。

1-3. 植物相

第1回調査および第2回調査で確認された植物相の、分類群ごとの科数と種数を表1-3-1に示した。

第1回調査では、1991年以前の文献調査により92科444種の植物を記録したが、第2回調査では、それ以降に発行された2つの文献により、新たに25科44種の植物が確認され、あわせて97科488種となった。

表1-3-1 植物の確認種の状況（北海道）

分類群	第1回	第2回 (新規確認種)	第2回
シダ植物	8科13種	3科3種	9科16種
裸子植物	—	—	—
双子葉植物	66科322種	16科23種	70科345種
単子葉植物	18科109種	6科18種	18科127種
合計	92科444種	25科44種	97科488種

1-4. 動物相

第1回調査および第2回調査で確認された動物相の、分類群ごとの科数と種数を表1-4-1に示した。

第1回調査では、1991年以前の文献調査により哺乳類6科9種、鳥類47科240種、両生・は虫類3科3種、魚類7科22種、昆虫類210科1,154種を記録したが、第2回調査



図 1-2-1 植生改変図

では、それ以降に発行された2つの文献および現地調査により、新たに哺乳類1科2種、鳥類1種、昆虫類5科123種が確認され、あわせて279科1554種となった。このうち、現地調査で新たに確認されたオウギアイサは、日本では初記録であった。

表 1-4-1 動物の確認種の状況（北海道）

分類群	第1回	第2回 (新規確認種)	第2回
哺乳類	6科9種	1科2種	7科11種
鳥類	47科240種	1種	47科241種
両生・は虫類	3科3種	—	3科3種
魚類	7科22種	—	7科22種
昆虫類	210科1,154種	5科123種	215科1,277種
合計	273科1,428種	6科126種	279科1,554種

1-5. 猛禽類の生息状況

1-5-1. 調査地点等（図1-5-1）

調査地の位置、調査日等について表1-5-1にとりまとめた。

表 1-5-1 調査地の位置、調査日時等（北海道）

項目	詳細
調査地点（定点）	A地点：ウトナイ湖西岸トキサタマップ河口付近 B地点：ウトナイ湖北岸広葉樹二次林 C地点：ウトナイ湖南東岸砂丘林 D地点：ウトナイ湖北岸美々川流入口 E地点：ウトナイ湖南岸美々川流出口
調査日	平成8年度：1日ずつ3回 1996年8月14日、10月31日、1997年3月10日 平成9年度：1日ずつ5回 1997年5月2日、5月20日、6月16日、7月3日、7月4日

1-5-2. 調査結果

調査の結果、種・地点ごとの観察数を表1-5-2に、調査記録を表1-5-3①～表1-5-3②に示した。観察は、平成8年度に25例、平成9年度に69例であり、観察されたのはトビ、チュウヒ、オオワシ、オジロワシ、ノスリ、チゴハヤブサの6種であった。

これらのうち、オオワシ、オジロワシ、チュウヒの3種はレッドリスト鳥類に記載され、特にオジロワシとオオワシについては天然記念物としても指定されている貴重種であった。

いずれの調査地点でも観察されたのはほとんどがトビで、トビの観察数は全観察数の約89%にあたる84例であった。次に観察数が多いのはチュウヒの4例で、トビとは大きな差があった。次いで多かったのはオオワシ、オジロワシで2例が確認され、ノスリとチゴハヤブサの観察数は1例であった。

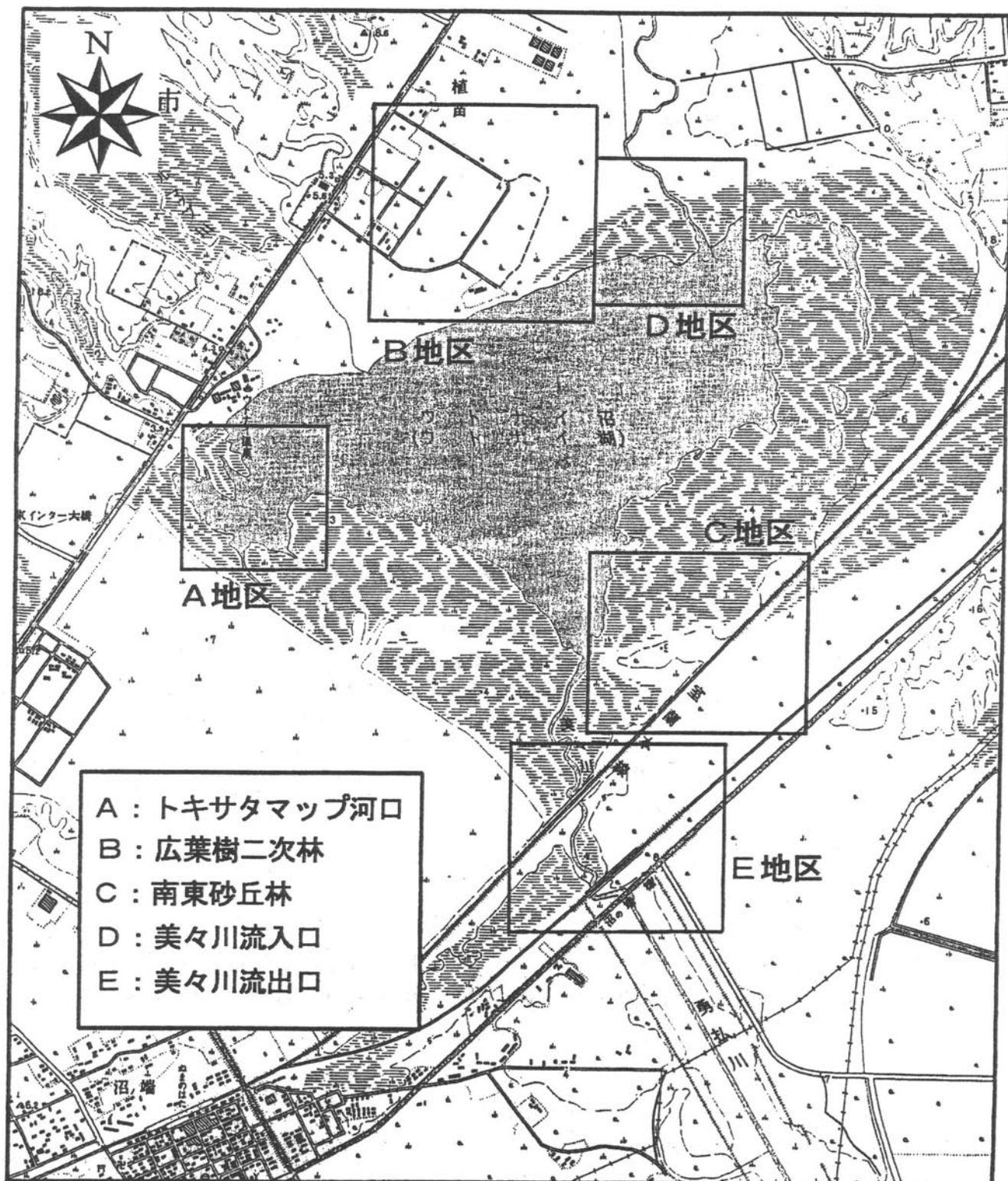


図 1-5-1 猛禽類調査地位置図

調査地点別に猛禽類の観察数を比較すると、調査地点B（ウトナイ湖北岸広葉樹二次林）における観察数が最も多く 42 例で、次が調査地点D（ウトナイ湖北岸美々川入口）の 20 例であり、ウトナイ湖北岸における観察数が多かった。その逆にウトナイ湖南岸に位置する調査地点Eでは、観察例が 5 例と少なかった。ただし、これは特にトビの観察例が多いためであり、トビをのぞいた種については調査地点Cの 3 例が最も多く、調査地点間の差はほとんどなかった。

これらの観察例はほとんどが上空を飛行する個体の目視による観察で、繁殖行動等は全く観察されなかった。また、性別や齢も不明であったため、この付近でこれらの種が繁殖しているかどうかについては不明である。

表 1-5-2 猛禽類の種・地点ごとの観察数（北海道）

種名	A地点	B地点	C地点	D地点	E地点	合計
トビ	11	40	12	18	3	84
ノスリ	0	1	0	0	0	1
チュウヒ	0	0	2	1	1	4
オオワシ	1	0	0	0	1	2
オジロワシ	0	0	1	1	0	2
チゴハヤブサ	0	1	0	0	0	1
種数	2	3	3	3	3	6
合計	12	42	15	20	5	94

注1：表中の数字は、2年度を通じた観察数を示す。

表 1-5-3① 平成 8 年度猛禽類定点調査結果（北海道）

番号	調査日 天候	時間	地点 番号	種名	性別・ 大きさ	行動	確認 方法
1	1996.8.14 晴れ	11:15～ 12:25	C	チュウヒ	不明・不明	上空飛翔、旋回	目視
2		14:24～ 14:34	E	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
3				チュウヒ	不明・不明	上空飛翔	目視
4		14:55～ 15:05	D	トビ	不明・不明	上空飛翔、旋回。	目視 鳴き声
5～9				トビ：5例	不明・不明	上空飛翔、旋回。	目視
10		15:25～ 15:35	B	トビ	不明・不明	地上から飛び上がる	目視
11	1996.10.31 曇り	13:30～ 13:40	C	トビ	不明・不明	低空飛翔	目視
12				チュウヒ	不明・不明	低空飛翔	目視
13		14:00～ 14:10	D	トビ	不明・不明	林地を低空飛翔	目視
14				トビ	不明・不明	国道近くを低空飛翔	目視
15		14:25～ 14:35	B	トビ	不明・不明	国道近くを低空飛翔	目視
16	1997.3.10 晴れ	13:40～ 13:55	B	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視 鳴き声
17				トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
18		—	A	トビ	不明・不明	3羽上空飛翔	目視
19				オオワシ	不明・不明	国道36号沿いを1羽上空飛翔	目視
20		15:53～ 16:03	E	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
21				オオワシ	不明・不明	低空飛翔、木陰へ	目視
22		16:13～ 16:24	C	オジロワシ	不明・不明	低空飛翔、沼のほとりに着地	目視
23		17:00～ 17:35	D	トビ	不明・不明	工作物（柱状）の上から飛び立つ	目視
24				オジロワシ	不明・不明	低空飛翔した後降下	目視
25～ 29	1997.5.2 晴れ	10:13～ 11:10	A	トビ：5例	不明・不明	上空飛翔	目視
30～ 32		8:45～ 10:05	B	トビ：3例	不明・不明	上空飛翔	目視
33				トビ	不明・不明	上空飛翔	目視 鳴き声
34				トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
35				ノスリ	不明・不明	上空飛翔	目視
36～ 38				トビ：3例	不明・不明	上空飛翔	目視
39	1997.5.2 曇り	11:26～ 12:05	C	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視 鳴き声
40～ 41				トビ：2例	不明・不明	上空飛翔	目視
42		12:49～ 13:05	D	トビ	不明・不明	湖面の上空を飛翔	目視
43～ 44				トビ：2例	不明・不明	上空飛翔	目視

表 1-5-3② 平成9年度猛禽類定点調査結果（北海道）

番号	調査日 天候	時間	地点 番号	種名	性別・ 大きさ	行動	確認 方法
45	1997.5.20 曇り	10:05～ 10:50	A	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
46・ 47		8:00～ 9:50	B	トビ：2例	不明・不明	上空飛翔	目視
48・ 49				トビ：2例	不明・不明	上空飛翔	目視 鳴き声
50				チゴハヤ ブサ	不明・不明	上空飛翔	目視 鳴き声
51				トビ	不明・不明	上空飛翔	鳴き声
52～ 54				トビ：3例	不明・不明	上空飛翔	目視
55・ 56				トビ：2例	不明・不明	草附きに	目視
57				トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
58～ 62		11:05～ 11:55	C	トビ：5例	不明・不明	上空飛翔	目視
63		12:55～ 13:30	D	トビ	不明・不明	水面上空飛翔	目視
64				トビ	不明・不明	林帯上空飛翔	目視
65～ 68				トビ：4例	不明・不明	美々川河口右岸上空飛翔	目視
69				チュウヒ	不明・不明	湿地低空飛翔	目視
70		12:00～ 12:20	E	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
71	1997.6.16 晴れ	9:26～ 10:12	A	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
72	1997.6.16 曇り	7:20～ 8:57	B	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
73・ 74				トビ：2例	不明・不明	上空飛翔	目視 鳴き声
75・ 76				トビ：2例	不明・不明	上空飛翔	目視
77・ 78	1997.6.16 曇り	7:20～ 8:57	B	トビ：2例	不明・不明	湖方面へ飛翔	目視
79～ 84				トビ：6例	不明・不明	上空飛翔	目視
85		10:40～ 11:25	C	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
86～ 88	1997.7.3 晴れ	15:30～ 16:00	A	トビ：3例	不明・不明	上空飛翔	目視
89・ 90		14:55～ 15:25	B	トビ：2例	不明・不明	上空飛翔	目視
91		16:50～ 17:25	C	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視
92	1997.7.4 晴れ	7:20～ 8:45	B	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視 鳴き声
93				トビ	不明・不明	干潟から飛び立ち飛翔	目視
94		10:40～ 11:10	C	トビ	不明・不明	上空飛翔	目視